臺灣日日新報 昭和十二年九月四日（土曜日） 第一万三千四百五十二號 （一）
臺灣昌新報 夕刊 九月三日 夕刊定価一部二錢
（第二版）（原稿記禮）（四月一日より五月九日第三種郵便物認可）（四月一日より郵便物認可）
編輯兼發行人 佐々木 喜 臺北市榮町二丁目一番地 臺灣日日新報社
臺北市本町（電話五ノ五）基隆支局 臺中市寶町（電話三〇）臺南支局 花蓮港街人船町 花蓮港支局
臺南市錦町（電話三七）嘉義支局 大阪市西區靱南通壹丁目（ユタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區銀座二丁目（電話京橋（56）五一〇一番）東京支局

臨時議會

擧國一致態度を更らに一層強化

政府の方針を支持して

（東京二日發同盟）二十億四千萬圓に上る支那事變費とこれに伴ふ戰時非常經濟立法を審議する爲めの第七十二臨時議會は三日召集された、この日兩院共別項の如く夫々所定の手續きを完了玆に兩院共成立を告げた、今議會は擧の特別議會當時政府の堅持せる北支の事態不擴大、局地解決方針に依り遂に全面的に支那と戰端を開くに至り支那事變にまで進展した、依つて政府はこの重大時局に對處する爲め戰時體制下に邁進する軍事費及びこれに伴ふ非常經濟立法諸法案の協賛を仰ぐ爲め召集されたものであるから會期は僅かに五日間、兩院とも議案審議に當つても議案審議會の實を發揮し擧國一致の態度を强化し政府の對時局方針を支持し戰時議會の實當時よりも一層擧國一致の態度を强化し政府の對時局方針を支持し戰時議會の實を發揮し出し公債發行に關する法律案を提られる

兩院成立

貴族院 衆議院

【東京二日發同盟】召集日の貴族院は二十年前九時二分頃から會の議事を開き勅語奉讀、議長の選舉を行ひ出席議員三百四名の多數に依り會の議事を開き勅語奉讀、議長の選舉を行ひ出席議員三百四名の多數に依り議長に德川家達氏を擧げ一旦散會、次で衆議院に通知するとともに衆議院に通知するとともに衆議院に通知するとともに

【東京二日發同盟】戰時體制下に召集された衆議院は二日午後一時開會、小山松吉氏が議長に當選したが、同氏が勅任官たる檢事總長の職にあるため勅任官たる檢事總長の職にあるため勅任官たる檢事總長の職にあるため

分間會、小山議長は「勅語奉讀は前通り謹んで拜聽せられたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀されたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀されたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀

て第七十二議會は兩院共成立するに至つた

事變費廿億餘圓

愈よ臨時議會に提出

【東京二日發同盟】政府は三日の閣議で支那事變費に關する本年度追加豫算を決定したに臨時議會に提出することとなつたが總額は一般會計四十二億四千萬圓、臨時軍事費特別會計二十億五千萬圓、その他で合計四十二億四千萬圓である（單位万円）

外務省	九〇	
內務省	一、八二〇	
大藏省	六九〇	
司法省	二一〇	
文部省	七〇	
農林省	四八〇	
商工省	一〇	
遞信省	九	
計	四、二四〇	
臨時軍事費特別會計		
陸海軍別會計	一〇〇、〇〇〇	
臨軍費特別會計	六〇	
朝鮮總督府特別會計	五六〇	
臺灣總督府特別會計	二一〇	
樺太廳特別會計	一〇	
關東廳特別會計		
關東軍兵站特別會計	一七、〇〇〇	
海軍大機密費特別會計	六〇	
帝大特別會計	一〇	
即位禮特別會計	二五〇	

【東京二日發同盟】召集日の貴族院は三百十年前九時二分頃から會の議事を開き勅語奉讀、議長の選舉を行ひ出席議員三百四名の多數に依り議長に德川家達氏を擧げ一旦散會、次で衆議院に通知するとともに衆議院に通知するとともに衆議院に通知するとともに

【東京二日發同盟】戰時體制下に召集された衆議院は二日午後一時開會、小山松吉氏が議長に當選したが、同氏が勅任官たる檢事總長の職にあるため勅任官たる檢事總長の職にあるため勅任官たる檢事總長の職にあるため

分間會、小山議長は「勅語奉讀は前通り謹んで拜聽せられたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀されたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀されたい」との旨を告げ、引續き本院は成立しましたことの詔敕が貴族院に參內して奉讀

【東京二日發同盟】政府は三日の閣議で支那事變費に關する本年度追加豫算を決定したに臨時議會に提出することとなつたが總額は一般會計四十二億四千萬圓、臨時軍事費特別會計二十億五千萬圓、その他で合計四十二億四千萬圓である（單位万円）

追加豫算財源

【東京二日發同盟】本年度追加豫算の財源は一般會計は國庫剩餘金並に臨時收入、那務所收入等の增額收入、外地特別會計は剩餘金、帝國大學、官國局各特別會計は儲有の收入で爭ひ臨時軍費は支那事變に關する臨時軍費特別會計の爲めの公債發行に關する法律案を提出し公債で賄ふこととなつた

山本事務官上京

山本徵發業務官は繼續業務打合せ、總督府及地方官官制に關する折衝の爲め來る七日のダグラスで上京用務には總督の內意である

出動將士遺家族救援協議會

先月廿二日午後二時から丸の內會館に於て開かれた出動將士の遺家族救援協議會は、東京市長其他關係者が參集して出動將士の內容に關する協議を爲したが、その概要は次の如くである

一、出動將士の遺家族に對する救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

二、救援は、原則として、その家族の居住地の市區町村に於て實施すること

三、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

四、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

五、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

六、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

七、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

八、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

九、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

十、救援は、その家族の生活狀態を調査し、その程度に應じ左の種類により實施すること

（イ）生業扶助
（ロ）醫療扶助
（ハ）住宅扶助
（ニ）就學扶助
（ホ）授產扶助
（ヘ）埋葬扶助

眞茄無電臺を徹底的に破壞

海軍航空隊が爆撃

【上海二日發同盟發表】第○艦隊航空隊は二日午後三時四十分支那軍が軍用に使用しつつある眞茄無電臺の爆撃を敢行し全彈命中、之を徹底的に破壞せり

敵の一機を撃墜

羅店鎭上空で空中戰

【上海二日發同盟發表】第○艦隊航空隊一日午後八時發表——二日朝から羅店鎭上空においてわが軍機○○○○機は敵のカーチス・ホーク戰鬪機十二機と遭遇し壯烈なる空中戰鬪を交へ皇軍その一機を撃墜し殘敵も潰走したがわが一機も敵のため被害を受け軍艦○○附近に着水し搭乘者は飛行機とともに無事收容された

羅店鎭西方地點を確保

【上海二日發同盟】二日午前陸軍部隊の一部は羅店鎭の殘敵を掃蕩し午後二時頃までに羅店鎭西方一里の地點を確保し更に○○に向け行動しつつあり

砲兵陣地を爆撃

【上海二日發同盟】第○艦隊航空隊一日午後八時發表

滬東航空隊は二日閘北、江灣、大場鎭方面の敵砲兵陣地に徹底的な爆撃を加へるとともに後に入るやゝ敵の後方に照明彈を投下して敵の企圖を探知し爆撃を加へつつあり

虹口一帶に敵砲彈が落下

【上海二日發同盟】閘北後方の敵は二日夜に入るとともに租界內に向け砲彈を發射し午後十一時十五分より虹口一帶では砲聲が盛んに落下しつつあり

我軍艦から猛射

【上海二日發同盟】第○艦隊第資遊二日午後八時發表——わが江上の軍艦は吳淞附近の敵に對し江上より射擊し敵の戰鬪に參加し協力しつつあるが二日午後七時頃○○艦は揚家莊東方の敵陣地に至近距離に接近し猛射を浴せ敵陣地を潰滅した

臨時肥料配給統制法案要綱

【東京二日發同盟】臨時議會提出に決した臨時肥料配給統制法案の要綱左の如くである

第一 政府は戰時又は事變に際し肥料の需給の円滑及び價格の公正を期する爲め特に必要ありと認むる時は勅令の定むる所に依り政府の指定と認むる法人又は個人に對し肥料の配給統制上必要なる事項を行ふべき事を命ずること

第二 政府は必要ありと認むる時は肥料製造業者又は其の團體に對し命令の定むるところに依り其の製造又は取扱ひにかかる肥料の第二項の法人又は個人に對し營業に關し必要なる命令を爲すことを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は肥料の製造、取引、保管又は運送を業とする者に對し業務に關し報告を徵し又は檢査を爲すことを得ること

第四 本法に違反した者に對しては過怠金を科すること

第五 本法の有效期間を本法中に明示すること

米穀の應急措置

二日農林省より發令

【東京二日發同盟】米穀の應急措置に關する勅令は二日閣議で決定を得たので同日樞密院より左の如く發令された

第一 政府は重用に供するため米穀の買收を認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

【東京二日發同盟】米穀の應急措置に關する勅令は二日閣議で決定を得たので同日樞密院より左の如く發令された

第一 政府は重用に供するため米穀の買收を認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

本年度の公債發行額

三十三億圓を突破

【東京二日發同盟】政府は國時議會に提出する臨時軍事費特別會計二十億內の公債は二十億五千萬圓に決定したが之に對し既に十三億七千萬圓が今日の如く急遽的に調達し得たので今後の軍事上の所要は殘額七億三千萬圓程度に入つた以上本件は

如何なる犧牲も財界は辭せぬ

飽くまでも對支膺懲

【東京二日發同盟】政府は國時議會に提出する臨時軍事費特別會計二十億內の公債は二十億五千萬圓に決定したが之に對し既に十三億七千萬圓が今日の如く急遽的に調達し得たので今後の軍事上の所要は殘額七億三千萬圓程度に入つた以上本件は

いて成立した譯で既に十三億七千萬圓の公債に達してゐるので今回新に追加公債發行額を加算すれば本年度發行額は三十三億圓を突破する程である

政府は國時議會の協賛を經て一般會計の豫算を本年度內に發行する豫定であるが、本年度豫算（臨時）に於ける公債發行額は第七十、第七十二兩臨時議會に於

いて成立した譯で既に十三億七千萬圓の公債に達してゐるので今回新に追加公債發行額を加算すれば本年度發行額は三十三億圓を突破する程である

政府は國時議會の協賛を經て一般會計の豫算を本年度內に發行する豫定であるが、本年度豫算（臨時）に於ける公債發行額は第七十、第七十二兩臨時議會に於

【東京二日發同盟】國時議會に提出する臨時軍事費は二十億圓に決定したが之に對し既に十三億七千萬圓が今日の如く急遽的に調達し得たので今後の軍事上の所要は殘額七億三千萬圓程度に入つた以上本件は

戰費の爲めは固より勿論、國民の戰意の爲めの必要な經費はあらゆる手段を講じて捻出する必要ありと決意し如何なる犧牲も辭せぬと政府を鞭撻し擧國一致の强硬態度を示してゐる

戰費の爲めは固より勿論、國民の戰意の爲めの必要な經費はあらゆる手段を講じて捻出する必要ありと決意し如何なる犧牲も辭せぬと政府を鞭撻し擧國一致の强硬態度を示してゐる

承認の臨時軍事費特別會計豫算は二日午後外日閣議通過直ちに樞密院に諮詢、即日午後本會議に於て可決、上奏、上裁を經て公布の運びとなつたが、その要旨左の如くである

第一 政府は戰時又は事變に際し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

【東京二日發同盟】二日午後外日閣議通過直ちに樞密院に諮詢、即日午後本會議に於て可決、上奏、上裁を經て公布の運びとなつたが、その要旨左の如くである

第一 政府は戰時又は事變に際し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

根本的解決まで既定方針に邁進

廣田外相の聲明書

【東京二日發同盟】二日午後外日閣議通過直ちに樞密院に諮詢、即日午後本會議に於て可決、上奏、上裁を經て公布の運びとなつたが、その要旨左の如くである

第一 政府は戰時又は事變に際し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

公債は當分公募せぬ

藏相言明

【東京二日發同盟】金融評議會は二日午後藏相官邸に開催、賀屋藏相より支那事變の進展に伴ひ各方面に於ける經費增加の已むを得ざる所以を說明、財政經濟の現狀に鑑み當分公債の公募は行はざる意向なることを說明した

英大な戰費の支出に伴ひ當面の金融圓滑が期されてゐる實狀に鑑み當分の間公債の公募は行ふ意思なきことを說明した

佛銀行利下げ

【パリ二日發同盟】フランス銀行は二日公定割引歩合を四分から三分五厘に引下げた

勅令公布

【東京二日發同盟】二日午後外日閣議通過直ちに樞密院に諮詢、即日午後本會議に於て可決、上奏、上裁を經て公布の運びとなつたが、その要旨左の如くである

第一 政府は戰時又は事變に際し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第二 政府は支那事變に關聯し必要なる數量の米穀を保有するため特に必要ありと認むる時は勅令の定むるところに依り米穀の收納を制限し又は禁止することを得ること

第三 政府は必要ありと認むる時は米穀收納組合聯合會に對し米穀の買入を行ふことを得ること

第四 本法には支那事變終了後一年內にその效力を廢止するものとすること

無紋拳

◆耶蘇來、會に現れてゐる顏同や現象

浮標のごとき女

（79）

尾崎士郎作 梁川剛一畫

一事件（二）

「あんな野郎にのさばらせて置いてもいゝのですか——あの野郎は僕の父親を殺したんです、それも」と叫ばずにゐられなかつた。

「——あの野郎がもし正面からあの女を口說いたといふなら僕もこんなに苦しみはしなかつたでせう。だが、あの野郎は」

彼にはせるとそれが彼の女房を取つてゐることに外ならないのである。

自分には自信がある、かうと鳴らした、ことによるとあの野郎は彼の警察の伊丹早苗がまだダンスホールにゐて「ミッキー・マウス」といふあだ名でとほつてゐる頃から狙つてゐたのかも知れないのである。

それでなくて、醉があんなに自由もする毛皮の機嫌や、百圓もする時計を買つてやつたりすることが出來るものか、——ああ、それにつけても僕には警察の組織的人格を信賴することが、そして、もつともモダンなる探偵をつくることがいかに急務であつたかは當へ片端生意が編輯長でゐる「新探偵」に彼の醫療を託したことは一代の不覺であつた。

「當生——いや、僕が勤からへんだとは思つてゐたんですが、まさか片端が」

ぐつと醉漢を抑へんとて、

「だが、今度こそは」

いさり立つ拳もろとも押へかねてゐるやうだつたが、しかし、白石はやがて、自分の手から來る重壓に堪へられないものやうに默つて腰を折つた。

落ちつかうとしても落ちつけなかつた。かれは目の前にゐてもゐてもゐられないといふ氣に驅られ立つたり坐つたりもぢもぢするうちに、ふと、ポケットの中に突込んだ手に觸れるものがあつた。

「當生——いや、僕が勤からへんだとは思つてゐたんですが、まさか片端が」

ぐつと醉漢を抑へんとて、

「だが、今度こそは」

いさり立つ拳もろとも押へかねてゐるやうだつたが、しかし、白石はやがて、自分の手から來る重壓に堪へられないものやうに默つて腰を折つた。

落ちつかうとしても落ちつけなかつた。かれは目の前にゐてもゐてもゐられないといふ氣に驅られ立つたり坐つたりもぢもぢするうちに、ふと、ポケットの中に突込んだ手に觸れるものがあつた。

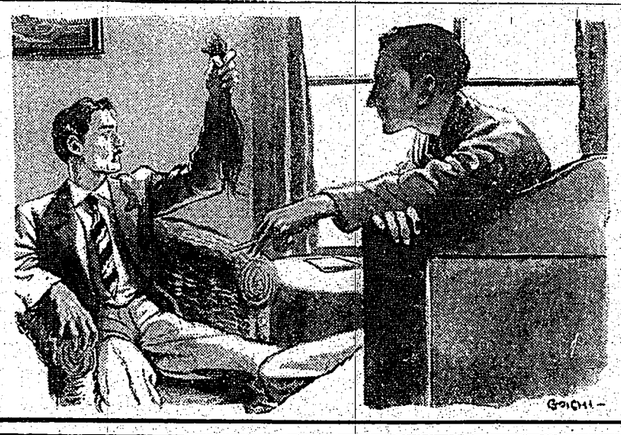
「當生——いや、僕が勤からへんだとは思つてゐたんですが、まさか片端が」

ぐつと醉漢を抑へんとて、

「だが、今度こそは」

いさり立つ拳もろとも押へかねてゐるやうだつたが、しかし、白石はやがて、自分の手から來る重壓に堪へられないものやうに默つて腰を折つた。

落ちつかうとしても落ちつけなかつた。かれは目の前にゐてもゐてもゐられないといふ氣に驅られ立つたり坐つたりもぢもぢするうちに、ふと、ポケットの中に突込んだ手に觸れるものがあつた。



で、名殘り惜しさうに當の寫眞を見つめたまま、さめざめと泣きだしてしまつた。

それから後は彼はまるで身體の中を毛蟲かやもりでも這ひ廻つてゐるのではないかと思はれるほど煩しい顏をゆすりをはじめた。それ等の所作はあきらかに彼の感情がいかに激昂はじめたかといふことを說明するものである。

「なあに」

と、白石はやがて水をすすりあげた。

「醉だつてすぐに醒しまさ、女は何處にだつて轉がつてゐるますからね、へゝゝゝ」

さう言つて笑ひだしたと思ふと、また急にいきり立つて、

「いや、僕はこういふ手段を講じないでも片端のやつをやつつけますよ、逃げ——いや、そんな生ぬるいことぢやない、もつとも醫療な、もつとも醫療な方法で」

しかし、さう言つた思ふことばとはうらはらにつぎつぎに、

「僕は寶に片端に醉つた探偵をつくらうと思つてゐたんだ、これが、こんな、こんなことになるなんて」

聲にならない聲をしぼりだすやうにつぶやいた。

うとも知られる、聚するに既局の推移につれて警官の苦勞と努力は益々加重され、その實務も殖えてゐる際ご自己の不用意不注意、又は職務からお上に御介をかけるといふことは相濟まぬ次第で、此の罰金の如きは寧ろ輕きに過ぎるものである。

お台所の巨砲
我にこの備へあり
マルキン醬油

狡智の支那軍

國際干渉誘發を企み
我軍の不發彈を探す

【東京三日發同盟】最近某方面より傳ふる情報に依れば支那側は最近頻りに日本軍飛行機より投下せる不發彈の物色蒐集に努めてゐる模様であるが支那側が後日やって來た日本軍占領後の寧波或は第三國の國旗其他の物品或は寧波の領事館等のやり口より推すも右の日本軍不發彈を利用して罪過を日本側に轉嫁し萬一露見したる場合は自己の過失として謝罪するもこれを用ひて戰闘行爲の中止其他第三國をして事變に對する干渉を誘發するの好機を狙ってゐるものと見られるので支那側の日本軍不發彈蒐集用には嚴重警戒が揚げられてゐる

絶讃の的

中村部隊の猛勇

迫撃砲十門を奪取す
寡兵で
遂に大敵に包圍され　羅店鎭に散る

【上海二日發同盟】特電】○○○

死藏の衣類十六億圓 時節柄勿體ない話

銃後の婦人よ、氣はお確か？

岸田軒造

銃後の婦人の活躍も目覚ましいものがありますが、家庭を守る主婦層は、この際一層心を緊しめて、家族の経済の健康を期すると同時に家族の健康に尊意すべきです、中でも婦人は労働に非常に優秀をもつてゐるのは男子から見て不思議な程です、生活の合理化を謳つてゐるあの婦人が過去の無駄を改めて「今後五年間絶對に衣服を新調しないことを決心しました」と殿表し、其通り實行せられました

我々數人から見れば大して殿心する程でもないと思はれますが、一流の人々の實踐振りを見る時に、之は經濟生活の根柢に觸れる事だと感じました、これで國民の眼に死せる勞物が何程生きて來るか知れません

婦人の衣類の中には、一生涯一度も手を通さない勞物がある、といはれます、しかも其の多くは裁縫な勞物であるといふ事を知つて、今こそ改めるべきであります

それで、一年に一回、家具大整理をし、臨時服も全部引き出して、虫干しを兼ねて勞ることも必要でせう、勿論一流の人々の勞物を活かす工夫を殿しませう、勿論流行後れでも少々派手でも、新調して勞ることもどうしても自分に必要ないものは

一年に二、三度しか着ないものは勿論分い、或人の殿見によると、日本全國の衣服の中に無駄に眠つてゐる衣服の價格が十六億円であるといふことです、然もそれ程豊富し、殿人してから二十年間一度も手を通さない勞物がある上に、また屋外勞物を新調すると云ふに至つては、其の馬鹿さ加減はあきれて物が云へません。物が云へないといふより、國家の現狀と照し合せて恥しくて涙が出ます。何とてこんな勞しき無駄をやるのでしやう、これまでかかることを氣狂でやつてゐた方々は

國定忠次

(44)

(第十回)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

雨の大原（十）

「國定。さうか、わしは又淺間の麓へ、忠次郎は鉄坊主の腕をとって、ひたすらに分け入ってゐる。

「歌つてゐるの。声を出すな」

暗闇で忠次郎は注意を與へた。鉄坊主は一言もなく、默々と歩いた。

「坊主、立停まれ。耳を傾かせろ」

と、いつて忠次郎は、闇に耳をそばだて、聞き入れど、人声もなく、足音もなく、草の靡かれる音ばかりが、さらさらと聞えてくるのみ。

忠次郎はつと唇をつき、

「さう、これで七八分通り助かつたといふものだ。お前、命が惜しさのだ」

が、鉄坊主は下を向いて歌つてゐる。引摺つてきた六尺棒を持てるのを幸に、力が急に抜けたかに

「お上人様にいただいたのがあまでした次第、行き違ひのため、言葉を延めてゐる際だつただ」

「わしは無職渡世のため、言葉を延めてゐる際だつただ」

「落としやしねえか」

「ここにある」

「さうか。では坊さん、無事でゐるなよ」

「もう行くのかお前様は」

「うれ行くよ。開けばこの原は馬鹿に廣いさうだ。どうやら行けばどうなるか、お前さん知つてゐるなら、早く、ご菩提への村へまでも送れ、それから何処へでも行くがいい」

「はい。あ、お前様は旅人様だ名を聞かしてください」

「俺は上州佐位郡の、国定村の忠次郎といふ者さ。あばよ」

この鉄棒が後の清水の三蔵である。清水とは生れ故郷の野州佐位郡清水村のこと。

「國定。さうか、わしは又淺間の麓へ、忠次郎は鉄坊主の腕をとって、ひたすらに分け入ってゐる。

「歌つてゐるの。声を出すな」

暗闇で忠次郎は注意を與へた。鉄坊主は一言もなく、默々と歩いた。

「坊主、立停まれ。耳を傾かせろ」

と、いつて忠次郎は、闇に耳をそばだて、聞き入れど、人声もなく、足音もなく、草の靡かれる音ばかりが、さらさらと聞えてくるのみ。

忠次郎はつと唇をつき、

「さう、これで七八分通り助かつたといふものだ。お前、命が惜しさのだ」

が、鉄坊主は下を向いて歌つてゐる。引摺つてきた六尺棒を持てるのを幸に、力が急に抜けたかに

「國定。さうか、わしは又淺間の麓へ、忠次郎は鉄坊主の腕をとって、ひたすらに分け入ってゐる。

「歌つてゐるの。声を出すな」

暗闇で忠次郎は注意を與へた。鉄坊主は一言もなく、默々と歩いた。

「坊主、立停まれ。耳を傾かせろ」

と、いつて忠次郎は、闇に耳をそばだて、聞き入れど、人声もなく、足音もなく、草の靡かれる音ばかりが、さらさらと聞えてくるのみ。

忠次郎はつと唇をつき、

「さう、これで七八分通り助かつたといふものだ。お前、命が惜しさのだ」

が、鉄坊主は下を向いて歌つてゐる。引摺つてきた六尺棒を持てるのを幸に、力が急に抜けたかに

臺灣日日新報

日刊夕刊共十二頁

本紙一部六錢・一ヶ月前金壹圓六拾錢・三ヶ月同四圓八拾錢・六ヶ月同九圓・壹ヶ年同金拾八圓也（日本國內及支那滿洲朝鮮）

個人廣告料特別一行十五字　壹回五拾錢　四回分前金壹圓八拾錢　追加一行四回分前金壹圓也

廣告料別一行十五字　壹回金壹圓　四回分前金參圓　追加一行四回分前金壹圓也

指定日附廣告ハ一割增

臺北市新富町一丁目四番地　臺北新報社

電話代表局二〇五一番　編輯部直通二〇五二番　營業部直通二〇五三番　振替口座臺北二〇二六番

本社發行

社長　中川健藏

編輯兼印刷人　佐々木八郎

印刷所　臺北市新富町一丁目四番地　臺北新報社

●臺灣製鹽株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地及ビ高雄市入船町貳丁目貳拾貳番地ニ支店ヲ設立右即日營業ヲ開始セリ

●臺灣電氣興業株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地及ビ高雄市入船町貳丁目貳拾貳番地ニ支店ヲ設立右即日營業ヲ開始セリ

昭和拾貳年八月貳拾七日　臺北地方法院登記課出張所

●臺灣電氣興業株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地ニ設立ノ旨登記ス

昭和拾貳年八月貳拾七日　臺北地方法院登記課出張所

●臺灣製鹽株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地ニ設立ノ旨登記ス

昭和拾貳年八月貳拾七日　臺北地方法院登記課出張所

●臺灣電氣興業株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地ニ設立ノ旨登記ス

昭和拾貳年八月貳拾七日　臺北地方法院登記課出張所

●臺灣製鹽株式會社（資金壹千萬圓）昭和拾貳年八月貳拾日臺北市末廣町貳丁目七番地及ビ高雄市入船町貳丁目貳拾貳番地ニ支店ヲ設立右即日營業ヲ開始セリ

昭和拾貳年八月貳拾七日　臺北地方法院登記課出張所

第參拾六期（年四割）決算公告

貸借對照表

資產之部		負債之部	
現金	8,888.8	資本金	8,888.8
有價證券	8,888.8	法定積立金	8,888.8
貸付金	8,888.8	別途積立金	8,888.8
不動產	8,888.8	當期利益金	8,888.8
土地	8,888.8	當期損失金	8,888.8
建物	8,888.8	未收入金	8,888.8
營業權	8,888.8	未拂金	8,888.8
鑛區權	8,888.8	借入金	8,888.8
船舶	8,888.8	預金	8,888.8
車輛及機械	8,888.8	有價證券賣却益金	8,888.8
鐵道運輸設備	8,888.8	雜收入	8,888.8
雜損失	8,888.8	資本金增加積立金	8,888.8
合計	8,888.8	合計	8,888.8

臺北鐵道株式會社

工事入札公告

一、總督官房會計課

因大阪商船臺灣線

門司神戶行　基隆丸　九月十日即時發

大連行　大正丸　九月十日即時發

上海行　九州丸　九月十日正午發

臺灣近海郵船基隆出帆

高雄行　高雄丸　九月四日正午發

岡辰馬汽船出帆

宮崎行　宮崎丸　九月十日即時發

大新丸中船出帆

大連行　山東丸　九月十日即時發

丸一組

門司神戶行　基隆丸　九月四日即時發

其他船便多數あり

高雄行　彰化丸　九月四日正午發

門司神戶行　香港丸　九月四日午前十時發

高雄行　高雄丸　九月五

戰時體制下の臨時議會
擧國一致の實現を期待

一

北支事變が支那側の不法と誤りを正さずんば已まざる態度に對し大決意を以て臨時議會に對するの秋（とき）である、現下の戰時體制に於ては擧國一致の實現なくしては國家總動員の使命を果すことは出來ない、政府は此の際擧國一致の實現を期待すべき臨時議會を開くの必要を認めたので、第七十二議會は愈々二日を以て召集された、即ち本議會は事變に對應の必要に迫られつつある內外情勢と共に擧國擧族的協力を求めると共に擧國擧族的な臨時議會、立法の議會を求める事が其の眼目となつてゐる、事變に要する臨時軍事費は既に十億圓餘の巨額に達するが擧國一致の態勢さへ成れば現在に於ては國債消化は何等の困難もないどころか、寧ろ戰時經濟立法を以て國債に對する國民の信用を益々高めることさへ出來る、從つて政府は今回の議會に於ては國債消化の爲の法案は提出しない、從つて議會は專ら事變處理に關する諸般の重要法案を審議することになるであらう

二

因より議會本來の職能たる立法の審議も重要であるならば自ら國民輿論に基く忌憚なき批判も行はれるであらう、政府は之等の批判に對しては何等の不安なきを斷言し得るのである、今や擧國一致の態勢を示しつつあり、今後我には

戰費の正體 (終) 國防經濟樹立へ

阿部良男

來期糖增産と輸送が問題

過剰糖處分に關聯して 無水酒精增産も研究を要す

無水酒精の島内製造割當

十六年度から一部國營にし 專賣局で工場設置計畫

新貨物驛の業務開始

十二月一日からと決定 大稻埕驛は同時に廢止

本年上期の 內外經濟界大勢

（上）　蓁銀　保田頭取

本材パルプの 製紙用量九十萬噸

國內生産は七割、あとは輸入に俟つ

農倉利用問題

稅の立場から以てすると 法規の改正を要す

パインの 品種改良計畫

三州下に試作園を設け 實行法はす

よく調査せねば 事情が判らぬ

法規上は商人も寄託出來る

茶の販路擴張に

十一日滿洲へ出發

株式は底拔的慘落

天井から四割安の物多し

南部の 糖況手堅

分蜜十九圓丁度

土壟間には 氣の毒

全島的問題だ

無水酒精の 島内製造割當

十六年度から一部國營にし 專賣局で工場設置計畫

本年上期の 內外經濟界大勢

（上）　蓁銀　保田頭取

新貨物驛の業務開始

十二月一日からと決定 大稻埕驛は同時に廢止

本材パルプの 製紙用量九十萬噸

國內生産は七割、あとは輸入に俟つ

農倉利用問題

稅の立場から以てすると 法規の改正を要す

パインの 品種改良計畫

三州下に試作園を設け 實行法はす

よく調査せねば 事情が判らぬ

法規上は商人も寄託出來る

茶の販路擴張に

十一日滿洲へ出發

株式は底拔的慘落

天井から四割安の物多し

南部の 糖況手堅

分蜜十九圓丁度

土壟間には 氣の毒

全島的問題だ